

ほがらか会

4月14日(木)、今年度最初のほがらか会(堀江利明代表)が会員17名の参加により開催されました。この日は、まず古都式体操を行い、腕の曲げ伸ばしをしたり、背伸びをして背筋を伸ばしたりするなど、徐々に体をほぐしていく運動をされました。

後半は、前回から取り組んでいる「立ち雛」作りの続きで、「きめこみ」という作業をして作品をきれいに仕上げ、参加者全員が有意義で楽しい時間を過ごされました。



完成した立ち雛を手にする参加者



立ち雛の「きめこみ」作業の様子



古都式体操で、腕と背筋を伸ばす参加者

カルスト山荘周辺整備ボランティア募集

草間カルスト里山の会(堀江利明会長)では、カルスト山荘周辺一体を活用した拠点整備構想を検討しています。本年度は宿泊施設「かれんふえると」2棟の改修工事も予定されており、アグリツーリズムとしての農業体験や、将来のキャンプ場整備など、地域住民と共に活動を展開したいと考えています。

その取り組みの一環として、安全環境部では、現在休館中で、維持管理ができていないカルスト山荘周辺の環境美化活動として、下草刈りや雑木伐採作業を今年2月に引き続き計画しています。



2月の雑木伐採作業の様子

作業予定日は、5月28日(土)と6月11日(土)です。両日共午前8時から10時まで、草刈り作業等のボランティアを募集します。特に若い人の参加を期待しています。どちらか1日だけでもOKです。協力いただける方は、保険加入の関係から事前(作業日3日前まで)に市民センターまで申し出くださるようお願いいたします。

「続 金原焼き」

探検ロマン草間台遺産No.133
平成19年の草間ふれあい文化祭に、ある焼き物を大黒誠之介さんが出品されました。底に「明治廿三年とりの年・草間・田中熊太郎」と彫ってありました。かつて「金原焼」という陶芸が行われていた時の作品で、他にもまだあるだろうということでした(平成19年12月号の草間市民センターだより参照)。



草間寺山門の上にある龍の焼き物

新たに見つかった「金原焼」の作品は、草間寺山門の屋根にある焼き物などです。特に「龍」の焼き物は細工が緻密で、専門家に言わせると、これと同じものを作るのは大変だそうです。屋根にある焼き物の一つに「阿哲郡草間村大字土橋田中熊太郎」の文字が彫ってあることから、金原焼と分かりました。草間村土橋と言っていた時代は、明治33年から昭和28年までの間で、その間に製作されたものだと考えられます。



大黒さん出品の焼き物

川柳 題「机」「身」



ピカピカの机と鞆はや二十才
身につけた百姓根性まつしぐら
母さんに教わる机は食卓だ
身だしなみきれいに出来てチャームニング
雨降れば机と椅子が呼んでいる
人の世話出来る身体父母に感謝
春うららまどろんでいる古机
黄味白味永遠という穀の中
田井芳枝
高畑文子
西本八寿江

短歌

朝毎に歩行訓練する我に
鳩がふり向き模範をしめす
中村すみえ
ふでりんどうのコバルトブルーにカメラ向け
ひざまづく人はひつくばふ人
滑 都
草を引く先につんつん角を出し
「スズランです」と叫んでいるやも
西山富美子
鳴き声に空見上げればブツポウソウ
今年も来ました五月一日
杉 秀樹
入学式に向かう曾孫を眺めれば
制服姿のとても凛々しき
長岡愛子

俳句

母の忌やほど良き蓬摘みてをり
長田保子
春炬達戦の話尽きもせず
橋本八重子

